

科目名		細胞生理学実習	
科目責任者 研究科長			
開講時期： 2～4年次		単位数： 6 単位	時間数： 90分× 90 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 細胞機能を担う分子実体を明らかにするため、正常細胞、および標的分子の機能を障害させた細胞の性質を、細胞生理学的手法を用いて調べ、機能に関与する分子実体を明らかにする。 行動目標 (SBOs) 1) 実験動物、そして遺伝子操作に関する申請書類を作成することができる。 2) 細胞のシグナル分子の機能を薬理的に抑制することができる。 3) 細胞のシグナル分子の機能を分子生物学的手法を用いて抑制することができる。 4) 細胞のシグナル分子の機能を分子生物学的手法を用いて促進することができる。 5) 正常細胞、および障害された細胞に細胞生理学的手法を応用することができる。 6) 薬理的機能抑制と分子生物学的機能抑制の結果の違いを考察することができる。 7) 分子機能変化と細胞機能変化との因果関係を考察することができる。 8) 細胞機能に関与する分子機序をモデル化することができる。			
● 評価方法		発表等 60%、討論等 20%、レポート等 20%により総合的に評価する。	
● 参考文献		実習の中で必要に応じ紹介する。	